

# 訪れたいまち

岐阜県恵那市

岐阜県

恵那市

明知鉄道 岩村駅

山紫水明の豊かな自然に恵まれ、

映画「青い山脈」のロケ地にもなった恵那市

公共交通を守り育て、未来に「つながり」を目指す

公共交通を便利に

恵那市は平成16年、旧恵那市と恵那郡の5つの町村が新設合併し、誕生した。

市内には、第三セクターの明知鉄道が、恵那駅から明智駅までの25.1kmの区間を走る。合併前から、明知鉄道の駅を発着するバスは、乗り継ぎダイヤが悪かったり、一部の路線では明知鉄道との競合もあった。また、沿線地域の人口減少やマイカー普及の影響もあり、利用客が減少していた。

便利で快適な移動手段を確保しようとして、市、公共交通事業者、市民代表などが参加する「明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会」を設置。平成21年から第一次の5カ年計画として、「明知鉄道沿線地域公共交通総合連携計画」(以下、「連携計画」)を策定した。明知鉄道を基幹路線、バスやタクシーはその支線となるよう、路線の見直しを行うなど、沿線地域全体で公共交通を使いやすくするための見直しを行ってきた。

地域住民とともに

連携計画の基本方針の一つに、「公共交通と地域住民との連携強化」を掲げている。明知鉄道を含めた公共交通の実態や活用方法などを積極的に情報発信していくことで、公共交通の運営について住民の理解を深め、また、沿線の環境整備や駅舎清掃などに参加してもらうことで、沿線住民に明知鉄道を支える意識を持つてもらったのだ。

## 地域公共交通確保維持改善事業

地方バス路線、離島航路・航空路など、生活交通の確保・維持を図るとともに、地域鉄道の安全性向上に役立つ設備整備など、快適で安全な公共交通の構築への取り組みを支援するもので、平成23年度に創設。明知鉄道は、この事業を活用し設備や車両の整備を進めている。

また、この事業創設前の「地域公共交通活性化・再生総合事業」で平成22年度に「明知鉄道沿線地域公共交通活性化協議会」が、国土交通大臣表彰を受賞。

恵那峡



遊覧船で恵那峡めぐりが楽しめる。



「品」の字を形づくる「品の字岩」



桜の名所にもなっている。

恵那銀の森



地元の食材を使ったレストランとショップが入る。

阿木駅



高校生が手作りした阿木駅待合室の座布団。自主的に駅の清掃などもしている。

大井宿本陣跡

中山道六十九次のうち、江戸から数えて四十六番目の宿場町。昭和22年に本棟が火災で消失。現在では、正門、裏の庭園のみが残る。



岩村の城下町（歴史の町並み）

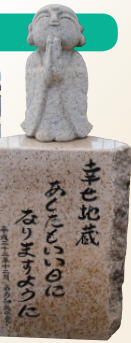


電柱が地中化されたまちなみ。重要伝統的建造物群保存地区に選定（写真上）。それぞれの軒先には佐藤一斎の句と女将さんの名前が入ったのれんが掲げられている。佐藤一斎は岩村藩出身の儒学者

極楽駅



極楽駅のホームにあるお地藏様



花白の湯



花白温泉駅にある日帰り温泉施設

明智駅



明智駅に飾られた地域のヘッドマーク入賞作品

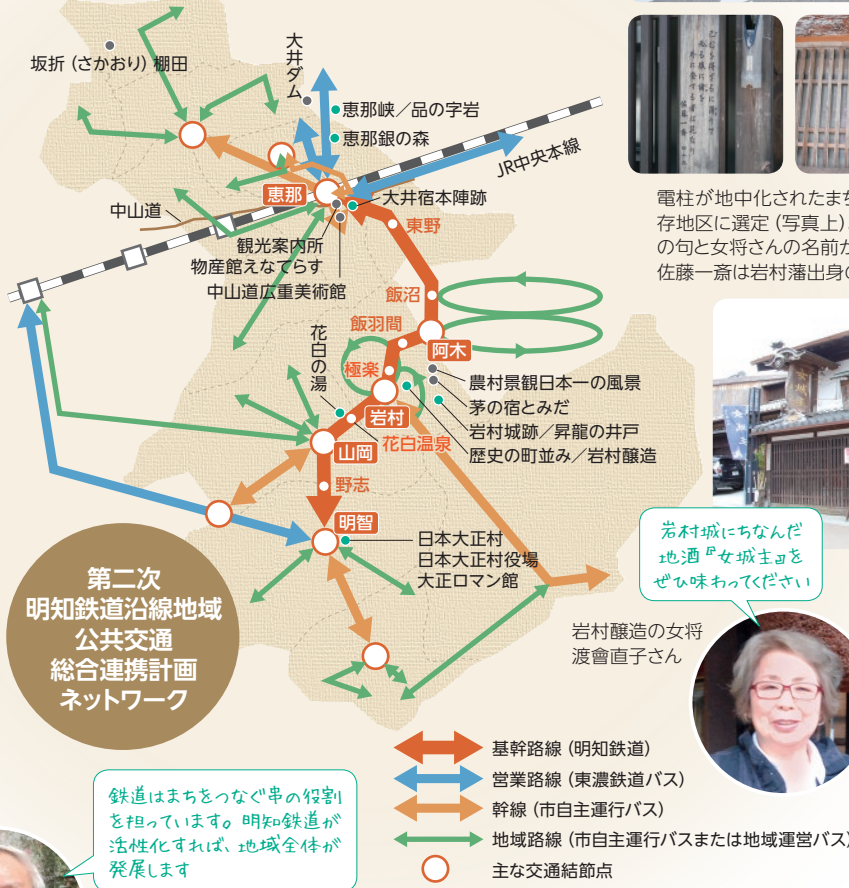


明知鉄道 丸山朝夫専務

日本大正村役場



無料休憩所として利用されている。



岩村城にちなんで地酒「女城主」をぜひ味わってください



岩村醸造の女将 渡會直子さん

1877年創業と伝えられている「岩村醸造」。酒蔵見学や試飲もできる。敷地内には、以前酒や米の運搬に使われていたトロッコのレールがあり、天正年間に整備された生活・防火用水である「天正疎水（てんしょうすい）」が流れる。

岩村城跡



本丸にあり、決して廻（か）れることがなかったと言われる「昇龍の井戸」

岩村城は日本名城100選にも選ばれた日本一高い所にある山城。今は城壁が残る。写真は本丸の北東面に築かれた6段の石垣





商工観光課の松田さん(左)と足立さん

**次の「連携計画」へ**

平成25年度で終了した第一次連携計画のもと、市内の中学生を対象に、沿線地域の特色を活かしたヘッドマークのデザインを募集。入賞作品は列車内で表彰をした。明智駅に飾られた入賞作品を見ようと生徒の家族が列車に乗ってやって来る。

平成25年度で終了した第一次連携計画



寒天列車で出るヘルシーな寒天料理



9~11月にはきのこ列車が楽しめる。

**未来へつながる 明知鉄道**

連携計画で中心となる明知鉄道。観光客にもっと訪れて欲しいと、山岡特産の細寒天\*を使った料理を楽しめる「寒天列車」や、秋には「きのこ列車」など、季節に

画。計画の目標達成を確認し、その結果をもとに、平成26年度からは新たな力年の第二次連携計画を策定した。明知鉄道を中心とした快適で円滑なネットワーク形成の実現を受け継いでいく。

「住民の方からは、身近な生活路線が便利になるように目を向けてくれてありがたい、というご意見もいただきました」と語るのは、恵那市経済部商工観光課の松田泰明さん。「今後は、公共交通を地域・事業者・市の3者で守り育てていくことが大切です」



可知 恵那市長

合わせてグルメ列車の運行を始めた。また、4ヶ月までの

第二土曜日には「ちゃりんこ列車」を走らせる。明知鉄道に自転車ごと乗り込んで沿線の各所をサイクリングで回るというもの。自然のなかを自転車で駆け抜けるのは最高だ。

明知鉄道の社長でもある、可知義明恵那市長は「恵那には山紫水明の豊かな自然やすばらしい観光資源がたくさんあります。特に明知鉄道沿線にある岩村のまちなみや岩村城跡などは歴史的に価値が高い。観光客を誘致するために、私たちが積極的に市の外に向けて働きかけなければなりません」と話す。

「エリアの駅が岐阜県内にできることが決まり、ここが通過点にならないよう、明知鉄道そのものを観光ツールにして、存続のための取り組みをしていきたい」と意欲を見せる。

平成24年中には観光客数が400万人を突破。目標より3年も早く達成できた。地域全体で守り育てた公共交通を、より良い状態で次世代につなぐ、ために第二次連携計画が走り始めたばかりだ。

**見事****岩村のポスターが国土交通大臣賞を受賞!!**

「恵那市岩村人と自然が織りなす物語」が、平成25年度第62回日本観光ポスターコンクール(社団法人 日本観光振興協会主催)で、国土交通大臣賞を受賞しました。

表彰式は、平成26年9月26日(金)に東京ビッグサイトで開催される「ツーリズム EXPO ジャパン」で行われる予定。



人と自然が織りなす物語、恵那

**恵那のシクラメン**

恵那市がシクラメン発祥の地だということをご存じだろうか。大正時代に大井ダムの建設に携わっていたアメリカ人技師の妻(ドイツ人)により伝えられ、恵那市東野の故・伊藤孝重氏により栽培が始められた。現在では、恵那市は全国に誇るシクラメン産地となり、さまざまな品種が研究・開発されている。



\*細寒天 … 細い糸状に作った寒天。恵那市山岡町は、全国シェア80%以上を誇る日本一の細寒天の生産地域。

# MLIT レポート 岐阜県

全国各地で働く国土交通省職員が地元を紹介!

Reporter

中部地方整備局  
多治見砂防国道事務所  
調査設計課 専門官

長沢 勇路



中部地方整備局では、平成24年5月より、河川や道路、港湾の整備などの事業をもっと身近に感じていただくために、今しか見ることができない工事現場などを「旬な現場」と名付け、見学会を行っています。立ち入り禁止の工事現場から、見せる工事現場へ。皆さんに私たちの仕事を理解していただき、工事現場の魅力を発見していただければと思っています。

東濃地方を管轄する多治見砂防国道事務所では、「旬な現場」として「木曾川水系川上流路工補修工事」、「国道21号坂祝バイパス坂祝トンネル工事」の見学会を行っています。

また、平成11年より、一般の方を対象にした開放講座「水と街道」を開催してきました。講座は、①地域住民とのコミュニケーションの促進、②地域活動への受講者の参画、③事業への理解と協力を得ることなどを目的としており、参加者は延べ1600人になっています。

「旬な現場」の情報は、春・夏・秋・冬に更新。中部地方整備局のホームページに見学マップなども掲載していますのでぜひご覧ください。今後もさまざまな工夫をこらした見学会を実施していきます。



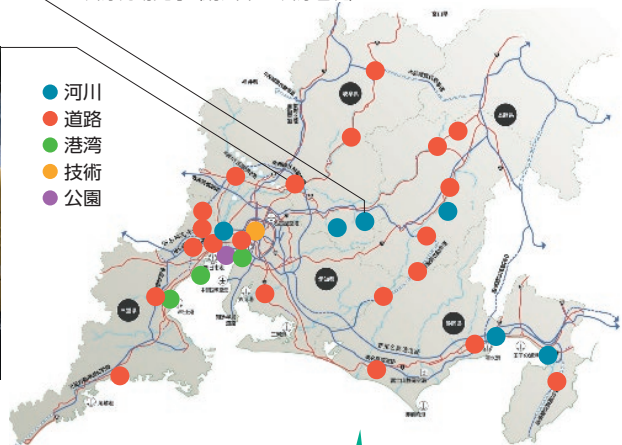
地元小学生が、摩耗や損傷した部分を取り除いた砂防施設を見学（川上流路工）



砂防現場見学（滑川第1砂防堰堤）



平成26年2月に貫通した坂祝トンネル（1号）



中部地整管内における「旬な現場」マップ

最新情報はホームページでご確認ください。

H26.3～H26.5

検索

「開放講座水と街道」 <http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/fureai/kaihoukouza/>

「旬な現場」 [http://www.cbr.mlit.go.jp/local\\_info/sougou/contents/shisetsu/construction/](http://www.cbr.mlit.go.jp/local_info/sougou/contents/shisetsu/construction/)